



第3期計画完成!!

誰もが住みなれた地域で安心して暮らすための計画である地域福祉保健計画。第3期となる平成28年度から32年度までの計画が完成しました!

都筑区はどんなことに取り組んでいくのか、地区別計画はどのように検討されてきたのか、ぜひご覧ください。

「つづき あい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報紙です。



都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」に第3期都筑区地域福祉保健計画を応援する新バージョンが登場です!

数字の3を掲げた大きな帽子をかぶっているのが特徴です。この大きな帽子の中から様々な知恵やアイデアを出しながらげんき・やるき・つづきをモットーに、第3期計画を推進していきます。



つづき あい 計画

第3期 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」



都筑区では、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念として平成18年に地域福祉保健計画を策定してから10年が経ちました。この間、地域の方が福祉保健課題について話し合う地域懇談会の開催や子ども、高齢者が集まるサロンなど、様々な取組が広がってきました。

一方、高齢者人口が増加している中、今後支援が必要な人は増えていくと考えられ、地域での見守り体制や課題解決に向けた取組が一層重要になってきています。

平成28年度から取り組む第3期地域福祉保健計画でも、これまでの基本理念を引き継いでいきます。

基本理念 人と人との「であい ささえあい わかちあい」

目指す姿 であいが広まり、お互いにささえあい、地域がもつ力をわかちあえる地域づくり

地域福祉保健計画とは

社会福祉法において、市町村が「地域福祉計画」を定めることになっています。横浜市では、「福祉」と「保健」は誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができるまちをつくるという目指す姿が同じであり、また、一体的に推進することが幅広い市民参加につながることから、「地域福祉保健計画」としています。

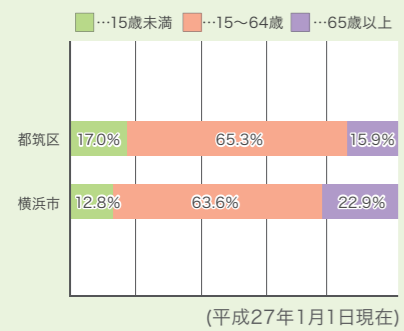
地域福祉保健計画は、課題解決に向けて、区民、事業者、行政が協働で取り組む計画です。

計画の方向性

都筑区は15歳未満の子ども（子育て世帯）が多く住むのが特徴です。

※不明分があるため、合計値は100%になりません。

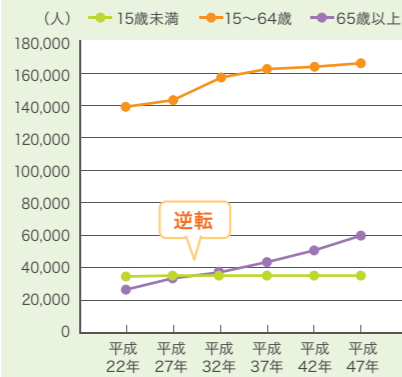
＜年齢3区分別割合の比較＞



※出典：横浜市統計ポータルサイト

もうすぐ65歳以上の人口が15歳未満の人口を逆転します。

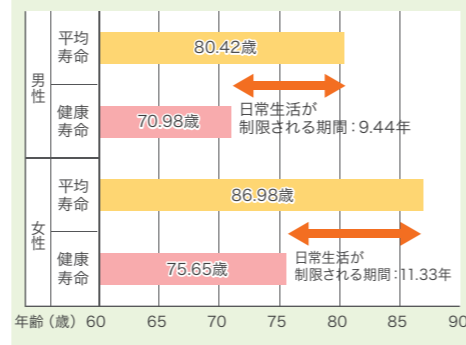
＜都筑区の年齢3区分別人口構成比の将来推計＞



※出典：横浜市統計ポータルサイト

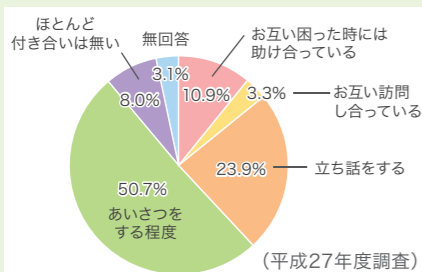
健康寿命を延ばし、平均寿命との差を縮める取組が大切です。

＜横浜市の平均寿命と健康寿命＞



※出典：平成22年 国民生活基礎調査

日頃の近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。



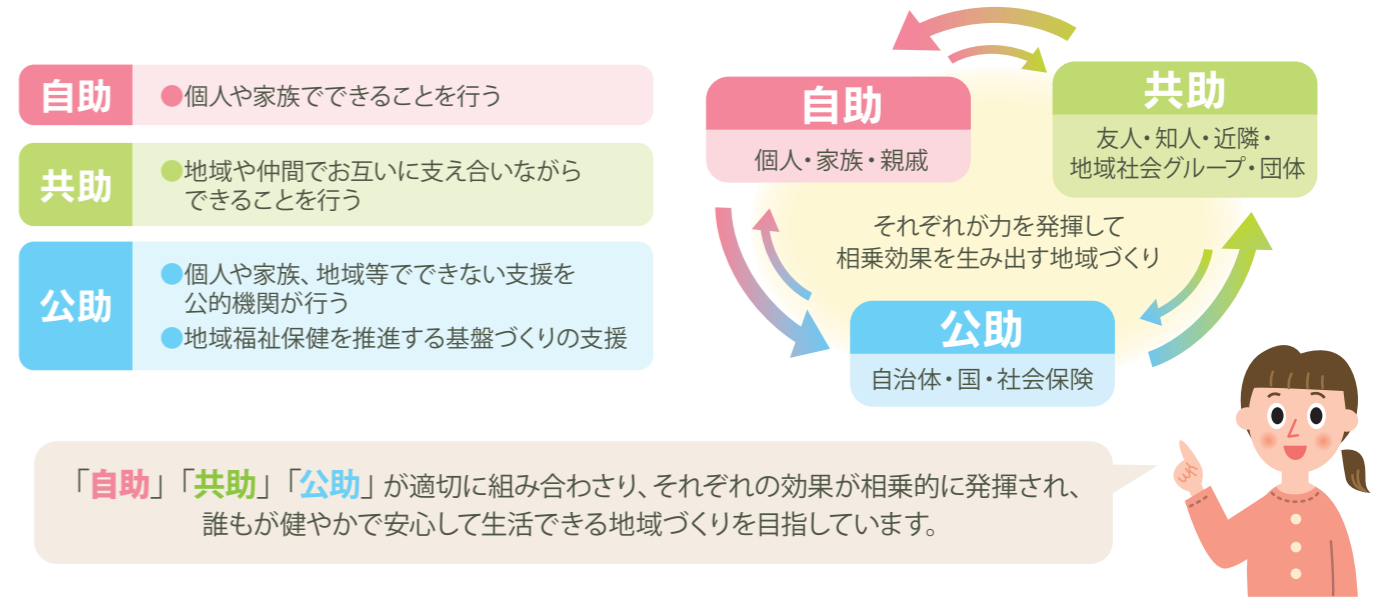
統計データや区民意識調査を踏まえると、「子ども・青少年」、「高齢者」、「健康づくり」の分野に特徴がみられ、今後、取組の重要性は増していくものと考えています。

「子ども・青少年」、「高齢者」、「障害者(障害児を含む)」、「健康づくり」の各分野に取り組むとともに、「地域福祉保健計画を推進する基盤づくり」を進めていきます。

住みやすい地域を実現するために (自助と共助の重要性)

福祉保健分野において、自分でできることに主体的に取り組む「自助」が注目されてきています。

また、地域の課題を共有し、地域のつながりで支え合う「共助」も一層重要となっています。「共助」からは地域の安心感、信頼感が生まれ、そこに参加する方の個人の生きがいや健康にもつながります。



計画の構成 第3期計画は「区計画」と「地区別計画」で構成されています。

区計画

区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが主体となっても進める取組。「地区別計画の活動を支える取組」や、地域の方が主体の活動だけでは解決できない課題に目を向けた「区域全体の福祉保健の共通課題解決に向けた取組」を基本とします。

★各分野で活躍しているあいちゃん等をご紹介します★



応援します子育て(子育て支援)



つづき de 元気(高齢者支援)



つづきチャレンジドとは、障害のある方がバッチの活用により障害のあることを発信する取組です。



つづき やさい(健康づくり)



つづき そなえ(災害時要援護者支援事業)

地区別計画

地域の方が主体となって進める取組。地域の現状や課題を共有して、課題解決に向けた取組についての意見やアイデアを出し合いながらつくりました。

地区別計画策定までの道のり「地区別計画 つづきのみち」については、次ページへ

地区別計画 つづきのみち

地区ごとに自治会町内会と地区社会福祉協議会が 一丸となって作り上げました

- 東山田地区
- 山田地区
- 中川地区
- 勝田茅ヶ崎地区
- かちだ地区
- 新栄早淵地区
- 都田地区
- 池辺地区
- 佐江戸加賀原地区
- 川和地区
- 荏田南地区
- 渋沢地区
- 茅ヶ崎南MGCRS地区
- ふれあいの丘地区
- 柚木荏田南地区

2期計画振り返り

平成23年度から5年間取り組んできた2期計画の成果や課題を話し合いました。

懇談会事前打ち合わせ

地域の状況を共有し、計画策定に向けて地域懇談会をどう活用するか検討しました。

地域懇談会

地域の課題解決に向けて目標や具体的な取組のアイデア出しなど、意見交換・情報共有を行いました。

このまちは子育てしやすいといいね

地域懇談会 グループワーク後の発表



元気がいいねえあそび場が増えるといいね

いってらっしゃい退職したら手伝ってね

気軽に声をかけてほしいな

ボランティアやってみたいね

地域懇談会 グループワーク



隣のおじいちゃん最近元気がないの

気になるね

計画策定に向けた話し合い

地域懇談会で出た意見から、目標案や計画冊子の掲載内容について話し合いました。

周知・策定

計画の案を、地域の皆さんに回覧やチラシ等で周知し、地区別計画ができました。

地区別計画をぜひご覧ください!!

一緒に体操しませんか

都筑区こども・青少年育成計画と都筑区地域福祉保健計画を一本化し、第3期都筑区地域福祉保健計画として一体的に推進していきます。

都筑区こども・青少年育成計画とは…

平成22年に「こども・青少年が健やかに育ち、子育てがしやすいと実感できるまち 都筑」を基本理念として策定された、都筑区独自の計画です。

【平成27年度までの計画期間中の成果】

- ① キャラバン隊による外遊び
- ② 小学生等への「命の授業」
- ③ 公立保育園育児支援
- ④ 中学生と赤ちゃんのふれあい体験
- ⑤ 中学校区ごとの取組への支援
- ⑥ 子育て支援ネットワークの形成 など



キャラバン隊による外遊び



赤ちゃんふれあい体験

地域での取組に皆様ご協力いただき、ありがとうございました！
平成28年度からは、地域福祉保健計画の中で一体的に取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願いします。



第16回都筑区チャリティーゴルフ大会より「つづき あい基金」へ、寄付をいただきました！

都筑区にゆかりある個人・団体・企業が参加された「第16回都筑区チャリティーゴルフ大会」からの寄付金を、同大会実行委員より、都筑区社会福祉協議会善意銀行に贈呈いただきました。都筑区地域福祉保健計画推進のために、「つづき あい基金」へ活用させていただきます。

「つづき あい基金」助成金をご活用ください

都筑区地域福祉保健計画を推進する活動を応援する「つづき あい基金」助成金制度があります。
来年度の募集は平成28年4月を予定しています。
詳しくは都筑区社会福祉協議会までお問い合わせください。



これまでに「ちょこっとボランティアグループの立ち上げ」「認知症カフェの立ち上げ」などに活用いただいています。



開催日時	平成27年8月20日(木)
参加者数	177名
今大会での寄付金	100万円
協賛者・社	64者・社

【お問合せ】 都筑区社会福祉協議会 TEL 045-943-4058 FAX 045-943-1863

「つづき あい」第2期計画の取組（平成23～27年度）の成果

第2期計画では、

①地域のつながりの希薄化 ②活動者や取組の担い手の不足・固定化 ③家族以外の社会的支援が必要な人の増加 を「重点課題」として位置付け、「3つの取組の方向性」に基づき、地域の実情にあった取組を進めてきました。その結果、地域では様々な活動が生まれました。



「地区別計画」の取組の成果

方向性1

- 異世代(三世代)交流会
- 地域のお祭り、イベント 等

方向性2

- 高齢者、認知症者のためのサロン開設
- 子どものボランティア育成
- 地域での清掃活動
- 趣味の活動、健康づくりの取組活動 等

方向性3

- 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」
- 要援護者の登録
- ボランティア登録、育成
- 平常時の見守り活動
- 企業との連携した取組 等

取組を進める上で、活動のヒントや力を得る場となった「地域懇談会」

地域の福祉保健課題について自分達で何ができるのか。まず、多くの人々の声を聞こうと「地域懇談会」を開催。いろいろな意見を聞くことで、地域の人々の思いを知ることができ、取組の糸口を見つけるきっかけにもなりました。地域懇談会は、地域の課題解決に向けての話し合いや情報共有の場として、連合自治会町内会で毎年実施されています。幅広い年代の人が話し合う場として地域で定着してきています。

地域懇談会についての感想



なるほど! 地域の力はすごい!!

引き続き第3期計画においても地域の力は必要です。第2期計画での取組を継続しつつ、誰もが住みなれたまちで安心して暮らせる地域を目指しましょう。